

公益社団法人 日本ホッケー協会



# 令和5年度 事業計画



# OVERVIEW

- ・令和4年度、中央競技団体ガバナンスコードに則って、理事会及び組織を大幅に見直した。一方で課題や問題点もあり、その解決に向けてさらなる改善を図る。
- ・この数年、新規事業の拡大に伴い、協会の業務量は大幅に増加。事務局業務の合理化、効率化を図り、次世代を担う人材の発掘と育成にも注力する。
- ・JOCの補助金が減少する中、新規自主財源の獲得と規律ある事業運営を確立する。
- ・シニア代表はパリ五輪の出場権獲得が最大の目標であり、まずはアジア大会が重要な位置づけとなる。U21は男女ジュニアワールドカップが開催されるため、そこへの出場が最大の目標となる。
- ・新設の事業本部を中心に、新種目としてのインドアホッケーの普及と強化、夢見るホッケー教室の全国展開、U12グループの創設など新しい取り組みをさらに推進する。
- ・東京都や品川区、大田区との連携を一層強めて、大井ホッケー競技場の新たな聖地化を進めるとともにホッケーの認知度向上及び観客動員に取り組む。
- ・協会創立100周年を契機に、2030年ワールドカップ招致に向けた準備活動を本格化する。



# 戦略統括本部

- ・財務規律に基づいた健全な事業運営の確立。
- ・自主財源の多様化、増加に向けた具体的な取り組みの実行。
- ・次世代リーダーの発掘と育成。
- ・デジタルを活用した事務局業務の効率化とマーケティングの推進。

	R5年度活動目的	事業計画	主なスケジュール
経営企画部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Japan Hockey Road to 2030を念頭に昨年度の新規事業の継続</li><li>・ データに基づいた他団体との協業に関してリサーチ実行</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 組織基盤強化事業の申請及び管理</li><li>・ ガバナンスコード遵守状況の報告</li><li>・ 次世代リーダーズ会議の企画/運営/実行</li><li>・ 全国サーベイの実施・分析</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 次世代リーダーズ会議（オンラインメインで2か月に1回目安いに実施）</li><li>・ 2024年1月に年次サーベイ実施（これまで3月→1月に実施）</li></ul>
財務統括部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 財務規律を確立し、健全な事業運営を行う</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 経理労務業務のIT化及びアウトソーシング化を実現し、予算と実績の管理と資金繰りの管理を徹底</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2023年10月末：月次決算を1ヶ月以内で実施できるようにする</li></ul>
マーケティング部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自主財源増加に向けた活動の実行</li><li>・ ホッケー競技の価値の言語化への取り組み</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 既存のパートナーとの関係深化</li><li>・ 新規パートナーの獲得</li><li>・ ホッケータウンとの連携推進</li><li>・ バリ五輪に向けたマーケティング施策の策定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ メインスポンサーとの間の定期的な情報交換（通年）</li><li>・ 第1四半期：マーケティングターゲットの再設定</li><li>・ 潜在的なパートナーとの議論の継続（通年）</li></ul>
関連団体統括部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ JHAと加盟各団体との権限関係の整備、連携・協力体制の強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ JHAと加盟各団体との間の加盟団体規程の新設、権限関係の整備、連携・協力体制の強化にあたり必要・有益な方途の具体的な検討・実施</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 9月ころまでに方途の具体的な検討をし、年度内の実施にむけ調整</li></ul>
デジタル推進部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 守り（事務局業務の効率化や法対応）と攻め（コミュニケーション改善やデジタルマーケティングの推進）を効率的に行う</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 経費精算/ワークフローシステム導入と定着化（稟議決裁の効率化）</li><li>・ コミュニケーションツールの導入</li><li>・ インボイス制度対応</li><li>・ 電子帳簿保存法対応に向けた証憑保存の検討</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ワークフローシステムの定着化（年度内）</li><li>・ コミュニケーションツール導入（年度内）</li><li>・ インボイス制度対応（2023年10月法対応）</li><li>・ 電子帳簿保存法（2024年1月完全義務化）</li></ul>

# 強化育成本部

※遠征や出場大会については  
財源動向等により変更の可能性あり

令和5年度は男女ともシニアはパリ五輪への出場権の獲得が最大の目標であるため、アジア大会優勝が最大のターゲット。優勝できなかった場合でも、最終オリンピック予選では3位以内に入り、ぜひとも出場権を獲得する。U21はジュニアワールドカップの出場権を獲得し、本大会での入賞を果たす。また、2030年に向けて、ジュニアの強化と指導者育成、科学的サポート体制の構築を目指す。

## 男子ハイパフォーマンス部

- ・ ランキング目標：15位（前年比+4）
- ・ 海外遠征5回予定（合計79日）
- ・ 国内合宿18回予定（合計92日）

### 【活動方針】

- ・ アジア大会での優勝（オリンピック出場権の獲得）
- ・ 次の強化方針に沿った競技力の向上を目指す→プレーモデル（プレー原則）の確立
- ・ 戦術理解力のレベルアップ・フィジカル、メンタル面の強化

### 【主要参加予定大会】

- ・ 第19回アジア競技大会（2022／杭州）2023年9月23日～10月8日（12か国中1位）
- ・ 第30回 スルタン アズランシャーカップ 2023年7月8日～17日（6か国中1位）
- ・ Sompo Japan Cup 2023年9月2日～3日（2か国中1位）
- ・ 第2回FIH Nations Cup 未定（8か国中1位）
- ・ オリンピック最終予選 未定（8か国中3位以内）

## 女子ハイパフォーマンス部

- ・ ランキング目標：9位（前年比+2）
- ・ 海外遠征6回予定（合計82日）
- ・ 国内合宿5回予定（合計55日）

### 【活動方針】

- ・ アジア大会での優勝（オリンピック出場権の獲得）
- ・ 各チームとの連携（共通認識を持ち、協力して強化と育成環境を構築）
- ・ アンダーカテゴリーから一貫した強化パスウェイ（世代間を繋ぐ取り組み）

### 【主要参加予定大会】

- ・ 第19回アジア競技大会（2022／中国・杭州）2023年9月23日～10月8日（10か国中1位）
- ・ Sompo Japan Cup 2023年9月2日～3日（2か国中1位）
- ・ 第2回FIH Nations Cup 未定（8か国中1位）
- ・ オリンピック最終予選 未定（8か国中3位以内）

## アンダーカテゴリー強化育成部

- ・ 海外遠征8回予定（合計82日）
- ・ 国内合宿18回予定（合計54日）
- ・ 選考会14回予定（合計36日）

### 【活動方針】

- ・ 男女U21では、Jr. WCアジア予選においてJr. WC出場権獲得することが最大の目的である。またJr. WCでは、男女ともベスト8を目指す
- ・ 将来「サムライ・さくらジャパン」で活躍できる選手育成（一貫指導）をする。各カテゴリー間の一貫した強化パスウェイを実施して競技力向上を目指す
- ・ エリートアカデミー事業、JHA中長期プランである「Road to 2030」の強化育成としてアンダーカテゴリー育成環境整備・充実の具体化を図る

### 【主要参加予定大会】

- ・ 男子Jr. WCアジア予選（オマーン） 2023年5月23日～6月2日（10か国中3位）
- ・ 女子Jr. WCアジア予選（各務原市） 2023年5月28日～6月12日（10か国中3位）
- ・ 第11回スルタンジョホールカップ2023（マレーシア） 2023年10月27日～11月4日（6か国）
- ・ 男子Jr. WC（マレーシア） 2023年12月5日～16日（16か国）
- ・ 女子Jr. WC（チリ） 2023年12月6日～17日（16か国）

## ◆指導者育成部

<b>R5年度活動目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>ACDミッション</u>：世界に通用する「型破りな」コーチを育成する →「型」を知った上で、チームの個性を活かせるチームづくりをしてもらい、日本ホッケー全体のレベルアップにつなげる</li> <li>• <u>主対象</u>：全国大会レベルの中学生以上のチームを指導するコーチ</li> <li>• 2023年度             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「量の確保」 全国大会以上のレベルを率いる指導者への厳格な基準による審査を経た資格付与</li> <li>・ 「質の向上」 プレー/戦術の原則、現代ホッケーのトレンドという「型」の知見共有によるコーチレベルの底上げ</li> </ul> </li> </ul>
<b>事業計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ACDカンファレンス（仮称）の開催</li> <li>• ACDカンファレンスのアーカイブサイト「JHAコーチネット（仮称）」の立ち上げ</li> <li>• JSPO公認コーチ3/4養成講習会の開催</li> <li>• 指導者表彰</li> </ul>
<b>主なスケジュール</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ACDカンファレンス：4月より隔月開催予定（年6回オンライン）</li> <li>• コーチ3養成講習会：7月または9月、1月の2回専門科目集合講習</li> <li>• コーチ4養成講習会：1月に専門科目の集合講習予定</li> </ul>

## ◆テクノロジー&ディベロップメント部

<b>R5年度活動目的</b>	<p>JSCでは科学的な根拠に基づいた普及・発掘・育成・強化を推進するため、日本の競技スポーツの基盤を踏まえた「日本版FTEM」を開発している。JHAでもR4年度に作ったJHA版FTEM（案）をたたき台に、R5年度には各カテゴリーの担当者により協議・検討しJHA版FTEMとして同意形成されたものの全カテゴリーへの提示を目指している。FTEM構築に伴い、各カテゴリーに対してJHAとしてサポート体制を確立するため各分野において検討していきたい。</p>
<b>事業計画</b>	<p>FTEM検討グループを立ち上げ、各カテゴリーにおける育成システム構築し、R5年度実施に向け検討する。また、同時に医事グループ、フィジオグループ、情報分析グループにおけるナショナルチームサポート体制に向けて検討する。</p>
<b>主なスケジュール</b>	<p>4 - 7月 FTEMシステム案の検討 8 - 10月 各カテゴリーへのヒアリングの実施 11 - 3月 実施に向けた説明会の開催</p>



# 事業本部

充実した大会競技運営を目指すとともに、各種国際大会への派遣増により、競技運営レベルの向上を図る。

JHA100周年記念としての事業成功と、インドアホッケーの地域拡大と日本代表強化が望まれる。またU12世代の育成・発展を今後JHAの柱の一つとして取り組むと共に、U12～マスターズまでの全世代ホッケーファミリー拡大に繋がる機会を創出する。

## ◆競技運営部

R5年度活動目的	<ul style="list-style-type: none"><li>充実した組織運営</li><li>他組織との綿密な連携</li><li>円滑でスムーズな競技運営</li></ul>
事業計画	<ul style="list-style-type: none"><li>競技役員の派遣と充実した競技運営</li><li>競技役員の資質向上</li><li>全国ルール統一研修会の開催</li></ul>
主なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"><li>各種国内外の競技会への競技役員の派遣</li><li>全国大会等での競技役員の育成・昇格試験等の実施</li><li>2月にルール統一研修会開催</li></ul>

## ◆ホッケーファミリー未来部

R5年度活動目的	ホッケー競技の普及・発展のためにホッケーの楽しさを伝えるとともに世界に羽ばたく選手の育成を目的として活動する
事業計画	<ul style="list-style-type: none"><li>全国スポーツ少年団大会</li><li>U12ホッケードリームキャンプ</li><li>U12ホッケーオールスター戦</li><li>夢見るホッケー教室×トミさんコーチング</li></ul>
主なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"><li>8月：全国スポーツ少年団大会</li><li>12月：U12ホッケードリームキャンプ</li><li>3月：U12ホッケーオールスター戦</li><li>&lt;年間を通して実施&gt;</li><li>夢見るホッケー教室×トミさんコーチング</li></ul>





## ◆イベントマネジメント部

<b>R5年度活動目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インドア日本代表チーム強化とマーシャルアーツ大会での上位入賞</li> <li>・ インドアホッケー認知獲得と普及を通じた新たなホッケーファミリーの獲得</li> </ul>
<b>事業計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インドア日本代表チーム活動（強化合宿、大会出場）</li> <li>・ 夢見るホッケー教室でのインドア普及活動</li> <li>・ JHA100周年記念事業、SOMPOカップ開催</li> <li>・ インドアフェスティバル、カテゴリ別大会</li> <li>・ 東京2020レガシーの維持と活用</li> </ul>
<b>主なスケジュール</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023年9月SOMPOカップ</li> <li>・ 2023年11月マーシャルアーツ大会（タイ）出場</li> <li>・ インドアフェスティバル、カテゴリ別大会</li> </ul>

### 【主要イベント（予定）】

#### ①インドアホッケーカテゴリ別大会

- ・ 実施日：2024年2月（予定）他
- ・ 場所：未定
- ・ 概要：インドアホッケーのカテゴリ別競技会を楽しめるイベントとして開催する

#### ②SOMPO JAPAN CUP

- ・ 実施日：2023年9月2日、3日
- ・ 場所：大井ホッケー競技場
- ・ 概要：JHA100周年記念事業としても位置づけ、ホッケーファミリーに国際トップクラスの試合を見ていただく機会を創出すると同時に、地域との連携を強化した様々な取り組みやイベントを行い、より総合的に楽しめる大会を開催する

#### ③アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ出場

- ・ 実施日：2023年11月
- ・ 場所：タイ
- ・ 概要：OCA（アジアオリンピック協議会）主催の国際大会に、日本として初の代表チームの出場を目指す

# コーポレート本部

協会およびホッケーの社会的信用と存在価値を高め、協会運営および2030年ワールドカップ招致に向けた基盤づくりに貢献するという本部方針に則り、各部以下の事業を推進していく

	R5年度活動目的	事業計画	主なスケジュール
広報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確で迅速かつ必要とされる情報の発信</li> <li>大会LIVE配信のさらなる推進</li> <li>在京メディアを中心としたメディアとの関係強化</li> <li>100周年を活用した、広く社会へのホッケーの情報発信強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JHA HPの運営（アンチドーピング等新規追加）</li> <li>動画：JHA-YouTube、SpoLiveの活用。解説者の育成</li> <li>代表チームの活動を伝えるPR発信、記者会見</li> <li>イヤールック発行</li> <li>JHA100周年取組の推進</li> <li>WC日本招致に対する機運醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP随時</li> <li>解説者育成：4～7月（予定）</li> <li>全国大会におけるLIVE配信事業</li> <li>アジア大会等国际試合前の代表チーム記者発表会</li> </ul>
国際部	<ul style="list-style-type: none"> <li>FIH/AHFとの連携を密→JHAの存在価値向上</li> <li>国際的に活躍できる人材の養成</li> <li>FIH/AHF会議への参加（理事としての活動）</li> <li>代表チームの強化に資する国際NFネットワーク構築や現地協力者とのリレーション構築・強化</li> <li>Road to 2030:W杯招致へ向けた取り組み強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>FIH・AHF主催の会議への参加を中心に国際ホッケー界における日本の存在の向上を図る</li> <li>FIH、AHFの役員としての活動を通じ、国際的な動向をタイムリーにJHAにフィードバックすることでJHAの関連部門をサポートする</li> <li>国際人養成アカデミーの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>FIH理事会</li> <li>AHF理事会の開催時期は未定</li> <li>アジア大会、ネーションズカップ等国际大会、遠征時におけるサポート</li> </ul>
コンプライアンス推進部	<ul style="list-style-type: none"> <li>健全な協会運営と環境づくりに寄与し、対外的な信用を高め、協会やホッケーの価値向上に資する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約書類の確認・作成、訴訟対応、その他各部門からの法務案件について相談体制の整備</li> <li>法令等遵守を前提に、実情に適応した協会内各種規程等の整備</li> <li>ホッケー協会内や関連団体へコンプライアンスの周知徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス研修（5月と11月に予定）</li> </ul>



# 常設委員会

	R5年度活動目的	事業計画	主なスケジュール
AD・インテグリティ委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>JADAが実施する検査、教育、TUE等に関する事項およびJOCが実施するインテグリティ教育事業に関わる事項を管理し事業を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JADA検査の管理</li> <li>JADA教育/TUE管理</li> <li>JOCインテグリティ教育の管理</li> <li>JADA承認Educator等による独自活動</li> <li>ホームページ整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間-JADA通知</li> <li>年間-大会開催時</li> <li>年間-大会開催時</li> <li>前半講習会受講、後半講習実施</li> <li>12月までに公開</li> </ul>
社会共創委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホッケー競技の普及、認知度の向上を図るうえで、ホッケーやホッケーグラウンドを使った活動に社会ニーズを解決する役割を持たせるべく活動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JHA内の現状の活動を「社会共創」をキーワードに整理</li> <li>他競技の社会共創活動の調査</li> <li>しながわホッケーファンゾーンの活動</li> <li>ホッケータウンの市長などを訪問し、社会共創事業の可能性を実地検証等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月～：しながわホッケーファンゾーンの準備等</li> <li>9月：SOMPO CUP×しながわホッケーファンゾーンイベント開催</li> <li>6月、11月：ホッケータウン訪問（2か所目標）</li> </ul>
アスリート委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年のアスリートの競技環境・アスリートの心境の把握→今後の協会決定事項などの判断材料・情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会ごとにアンケートを実施</li> <li>選手からのフィードバックや意見を集約</li> <li>サスティナブルなアスリートの活動を目指し、委員会を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4~5月：委員公募・選定</li> <li>定期的：幹部会議</li> <li>定期的：アスリート委員会</li> </ul>
コンプライアンス委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス推進基本方針、コンプライアンス委員会規程に則り、コンプライアンス意識の日常業務への実践・定着を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例委員会を年2回開催する（5月、11月）</li> <li>臨時委員会を随時開催する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月 定例委員会①</li> <li>11月 定例委員会②</li> <li>随時 臨時委員会</li> </ul>



# 事務局

事業	目的	事業計画	主なスケジュール
定型業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>堅実な協会運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務経理、助成金対応</li> <li>総務・庶務、文書管理</li> <li>理事会/業務執行理事会運営</li> <li>登録・データベース管理</li> <li>ステークホルダーとのコミュニケーション（スポーツ庁、JOC、JSPO、JSC自治体等）</li> </ul>	通年
本部・委員会の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアで活動する皆様の業務支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガバナンスコード対応</li> <li>各種会議・来客対応支援</li> <li>合宿遠征手配</li> <li>事業や大会毎の企画・実行・会計処理支援</li> <li>スポンサー・パートナー対応</li> <li>広報対応</li> <li>国際機関対応</li> <li>事業/イベント企画立案・実行支援</li> <li>法務・コンプライアンス事案処理対応</li> <li>社会貢献活動対応</li> </ul>	通年
業務効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>財源の有効活用</li> <li>事務局員の負担削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務のデジタル化推進</li> <li>リモートワーク環境の整備</li> <li>補助金・助成金の更なる活用</li> </ul>	通年

# JAPAN HOCKEY ASSOCIATION

---

## CONTACT

公益社団法人 日本ホッケー協会  
〒160-0013  
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号  
Japan Sport Olympic Square  
TEL: 03-6812-9200  
FAX: 03-6812-9210

